議会だより みなかみ

雪原に映える白樺

平成30年（2018年）1月15日発行
52号

12月定例議会

第4回 中学生議会 … 2
本会議審議内容及び結果 4
一般質問 …… 7
活動報告…… 14
この町あるある…… 18

バックナンバーが見られます。

Minakami Biosphere Reserve

表紙写真：藤原 上の原高原

群馬県利根郡みなかみ町

11月17日 第4回 中学生議会

いきいき提言2017

地方自治の体験学習として、行政や町の将来について中学生が質問や提言を行う模擬議会が開催された。事前学習を重ね、テーマ毎に4つの中学校の代表生徒18人がいきいきと発言を行った。

観光・まちづくり

藤原中学校
雲越　志歩（しほ）　　蛯谷　亮介（りょうすけ）
濱名千恵美（ちえみ）　　林　　怜奈（れいな）

人口減対策の面から

まち・ひと・しごと創生総合戦略でとりくむ

提 ①町を代表する大きい祭りの開催を
②町民がスキー場へ行きやすい環境にし誘客増へ
③誘客のための目玉を

答 ①地域の活性化は、地域自体がどうしていきたいかが重要
②将来、町を離れてもスキーやスノーボードの楽しさを伝えてほしい
③自然と温泉、伝統文化を守り継承し磨き上げをしたい

環境・農業・くらし

新治中学校
神保　陽太（ひなた）　　山田　幸々（ここ）
村山　大誠（たいせい）　　田村　花恋（かれん）
千葉　　怜（れい）

環境について

みなかみユネスコエコパークの理念を推進していく

提 ①レンタルファームにサービス等を付けて増し、PRをして耕作放棄地を減らす
②環境を考えられるゴミ分別カードを配付しては
③ユネスコエコパーク登録を機会に、様々なとりくみで多くの人に宣伝しては
④空き家対策に有効なルール作成を
⑤登下校の安全対策を

答 ①機能を十分発揮し、継続する市民農園の調査研究を行う
②分別表の配付やアプリを配信している
③具体的なご提案を活かして一層推進していく
④いろいろな機関と連携して対策にとりくんでいく
⑤大いに参考とさせて頂きこれまで以上にとりくんでいく

福祉・医療

月夜野中学校
千葉ななみ（ななみ）　　恒松　穂祐（けいすけ）
青木　英喜（ひでき）　　吉野　脩人（しゅうと）
我妻　凛果（りんか）

福祉への工夫を

いろいろなことに、とりくんでいく

提 ①資格の無い人や小・中学生に学びや興味の持てる場を設け、介護士不足解消を
②お年寄り、障害を持つ人や子どもたちなどの幅広い層の人々の交流の場を
③専用パンフレットや音声案内で、障害を持つ外国人観光客を増やす

答 ①職場環境の整備、教育の推進、情報提供などにとりくむ
②世代間交流事業への支援や、介護予防事業に積極的にとりくむ
③重要なことで、体制の整備や事業者と協議をしていきたい

子育て・教育

水上中学校
久保　華那（はな）　　荒木　彩那（あやな）
松本　純也（じゅんや）　　田村　心美（ここみ）

「子どもいきいきプロジェクト」

研究して充実させたい

提 ①子育て支援機構「みなこおばさん」政策を
②子ども向け、温水プール、図書館、交流サロンを備えた、町民の憩いの場となる大きな施設建設を
③中学校同士の交流の場を
④小中学校にエアコン設置を

答 ①制度を設け、どこでもケアできる仕組をつくる研究を進めたい
②複合的な施設の必要性は認識しており、研究していきたい
③積極的に推進していくことが必要と思う
④学校施設整備の優先順位、気温に順応できる健康な身体づくりを考慮し、調査を進めながら充実させたい

傍聴者感想

今年も充実した中学生議会であった。質問や提言が具体的で、町について深く学んでくれたと感じた。議場での経験が、ふるさとみなかみを育む思いに発展すれば更に良い。参加できなかった生徒へも体験談等で浸透して欲しい。

本会議審議内容及び結果

12月議会あらまし

12月議会は、11月30日から12月8日までの会期で開いた。契約締結2件、条例10件、指定管理者指定8件、補正予算4件、請願・陳情（6頁掲載）を審議し、総てを承認・可決・採択。6人が一般質問を発議2件、承認1件、した（7～13頁掲載）。

議会の流れ

11月30日
本会議
委員長報告
上程及び審議
・補正予算を除く、その他議案を全会一致で承認・可決

12月1日
本会議
一般質問（7頁～13頁）

12月4日
委員会
総務文教常任委員会
「陳情第2号ほか」（6・14頁）
厚生常任委員会
「請願第4号ほか」（6頁）

12月5日
委員会
産業観光常任委員会
「陳情第3号ほか」（6・15頁）
議会だより編集特別委員会（16頁）

12月6日
委員会
まちづくり振興特別委員会
交流促進特別委員会（17頁）

12月8日
本会議
上程
・発議
・条例
審議
・請願第4号　採択
・陳情第2号～4号　採択
・補正予算　可決
委員長報告

承認

専決処分報告※1

除草作業中、草刈り機で石が飛び、通行車両のサイドガラスを破損したが損害賠償額及び和解したことの報告を、全会一致で承認した。今後は、単独作業とならないよう確認をした。

※1 専決処分：町長が議会に代わって意思決定を行うこと。次の会議に報告し承認を求めなければならない。

契約

取り替え処分は有効活用を

事務用パソコンとスクールバス購入の契約締結について全会一致で可決した。質疑の後、パソコンについては有効活用の相談、スクールバスについてもこれまでとの整合性を取りつつ販売を含め有効活用の調査研究の回答を得た。

条例

町長給与・手当2割カット

これからの行政運営で財政状況はますます厳しくなっていくと予想。町民の付託に応えるため町長の公約でもある給料を削減して、政策を進めて行きたいとの提案を全会一致で可決した。

農地利用最適化交付金

国からの交付金が予算措置され、農業委員会及び推進委員の活動や、成果に応じた手当を支払う条例改正を全会一致で可決した。

夜間照明使用料の設定

月夜野中学校グラウンドに整備した夜間照明の使用料を、新たに追加する条例を全会一致で可決した。現在設定されている町内他施設の使用料と均衡を図って設定された。

指定管理者の指定※2

※2 指定管理者：公な施設の設置目的を効果的に達成するために、普通地方公共団体が施設の管理を行う必要があると認め、その管理を指定された団体。

施設に隣接した法人等を指定し、効率的、効果的な管理運営の確保と、利用者とのつながりや、地域密着度が高い8施設の指定管理者を全会一致で可決した。

8施設は、「いこいの湯」「湯テレメ・谷川」「ふれあい交流館」「満天星の湯」「上牧　風和の湯」「猿ケ京温泉室内運動場」「湯宿温泉屋内運動場」「猿ケ京温泉給湯施設」であり、現在も管理している。指定期間は3年間。

補正

一般会計

補正額　2億5705万円

▼主な質疑

問 「ふるさと応援基金」に1億6000万円の積立（支出）をし、「ふるさと応援基金」に5250万円の繰入（収入）をするならば、差額のみの計上でよいのでは。

答 ご寄附頂いたものは、全て「ふるさと応援基金」と「みなかみ・水・「環境力」基金」の2つの基金に積む。返礼品に要する費用は、それを財源として基金繰入（収入）として予算を編成している。

町のふるさと納税
返礼品カタログ

下水道事業特別会計

補正額　△648万円

▼主な質疑

問 人件費が減額されているが、人員が減ったためと思う。このまま人員減でいくのか。

答 人事異動に伴い減額したもの。今後は事業の経緯を見て対処したい。

水道事業会計

補正額　600万円

▼主な質疑

問 加入金600万円は通常より多いが理由は。ヤマキへの水供給等で新しい建設の関わりがあるのか。

答 新たに営業を始めた旅館、会社の寮、一般家庭の増加等で加入金が増えた。ヤマキとの関係はない。

請願 陳情

請願・陳情内容と所管委員会での審査内容は次のとおり。本会議では質疑討論はなく、所管委員長報告のとおりの結果となった。

請願第４号

■請願内容（抜粋）
医療従事者の勤務環境を改善し利用者の負担も軽減するための意見書の提出をもとめるもの。

■委員会審査内容
介護職の離職率や夜勤交代制の割合について質問。群馬県の離職率は14・９％、看護師勤務形態は３交替５割、２交替２割、日勤のみ２割との回答を受けた。健康で安心して働ける環境整備は必要との意見があった。討論はなかったが異議ありの声から賛成多数で採択すべきものとした。

陳情第２号

■陳情内容（抜粋）
現在の雇われる人としての労働者の法律でなく、出資・経営・労働を一体化した働き方をする新しい働き方の労働者として法制定を求める意見書の提出を求めるもの。

■委員会審査内容
９月から継続審査で閉会中も調査研究を行った。審査では陳情人からも直接説明を受けた。法制定のメリットや現行法との違い等の質問を行い、出資が出来ず資産が残せない、税制優遇を受ける仕組となっていない等の回答を受けた。自由競争は害さないということで、いろいろな働き方のチャンスがあっても良いとの賛成討論があり、全会一致で採択すべきものとした。

陳情第３号

■陳情内容（抜粋）
小日向沢上流部の流路整備についての陳情。

■委員会審査内容
現地調査では、環境森林事務所が谷止め工事を行っていた。砂防は沼田土木事務所が土砂災害特別警戒区域で優先順位の低い地域に指定していた。町として沼田土木事務所に働きかけることを確認し、全会一致で採択すべきものとした。

陳情第４号

■陳情内容（抜粋）
60歳以下の透析患者にもインフルエンザ予防接種補助を求めるもの。

■委員会審査内容
対象者数確認などの質問の後、討論はなく全会一致で採択すべきものとした。

みなさんからの声

請願・陳情結果表

		件名	請願・陳情人	付託委員会及び審査結果	本会議審議結果
請願	第４号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書提出を求める請願書	前橋市本町 3-9-10 群馬県医療労働組合連合会 執行委員長　石関　貞夫	厚生常任委員会 採択	全会一致 採択
陳情	第２号	『「協同労働の協同組合法」（仮称）早期制定を求める意見書』採択のお願い（９月継続審査）	東京都豊島区東池袋 1-44-3 池袋ＩＳＰタマビル 日本労働者協同組合連合会センター事業団 理事長　田嶋　羊子	総務文教常任委員会 採択	全会一致 採択
	第３号	小日向沢流路工整備に関する陳情書	みなかみ町小日向 184 小日向区長　木村　一夫	産業観光常任委員会 採択	全会一致 採択
	第４号	インフルエンザ予防接種の費用一部補助に関する、陳情書	沼田市井土上町 581 の６ 利根沼田腎臓病友の会 会長　関上　裕明	厚生常任委員会 採択	全会一致 採択

一般質問とは

議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるもの。

執行機関の政治姿勢を明らかにし、それに対する政治責任を明確にさせたり、結果として、現行の政策を変更、是正させあるいは新規の政策を採用させるなどの目的と効果がある。

定例会のみで行われ、現在、みなかみ町議会での一般質問の時間は、一人50分までとなっている。

主な質問事項

石坂　武　いしざか　たけし
①一般会計予算の適正規模の考え方は
②派遣・出向職員の実態と考え方は
③中学生海外派遣事業の考え方は

阿部　賢一　あべ　けんいち
①公約について

林　誠行　はやし　のぶゆき
①喫煙について
②公園の整備で乳幼児の子育て支援を
③キンメイチク（金明竹）について

山田　庄一　やまだ　しょういち
①農産物一大生産拠点化による農業立町について
②事業の継続と今後

髙橋　久美子　たかはし　くみこ
①町長就任にあたりどのような町政に取組まれるか

小林　洋　こばやし　ひろし
①行政運営について
②公約について

石坂　武 議員

一般会計予算の適正規模に向けて

町長　経常的な歳出を極力抑える

問　右肩上がりの一般会計予算の適正規模の考え方は。

答　町長
今後の予算編成においては経常的な歳出を極力抑えることが求められている。
　そのために、行政改革を計画的に実行していく。

問　現状は決して健全財政の状況にないがどう捉えているか。

答　町長
本当に必要な事業はどれか、住民サービスになっているか等精査し、予算規模の縮小を皆さんにお願いし、編成して行く。

派遣・出向職員の実態と考え方は

問　職員の派遣先・派遣人数と、今後の対応は。

答　町長
派遣先は、環境省・林野庁・群馬県・石巻市・利根沼田学校組合・観光協会・三峰会。派遣職員は12人。今後については、事務事業の優先度や、あり方等を十分検証する。

問　1人の職員があまり長い期間派遣され、本来の仕事に戻った時の戸惑いや不安な状況が生じることは問題と思うが。

答　町長
指摘のとおりだと思う。
　本来の仕事である町の業務に戻る形が本筋だと考えている。

中学生海外派遣事業の考え方は

問　個人負担等の関係で参加できない生徒に対し全員行ける施策は。
　例えば、貸付制度等の検討は。

答　町長
負担金を多少いただくことと、公平性を保つということは必要と考えている。

問　藤原中学校の生徒の参加が皆無であり、そこに何か原因があると思うが、その点についての調査は実施したか。

答　町長
どこに原因があるのか、まず洗い出すことから始めるのが一番だろうと考えている。

問　カルチャーセンターで行った報告会の参加者が非常に少なかったが、今後に向けての工夫は。

答　町長
同様の感想を持っているので、多くの人が参加できるようなとりくみを考えていきたい。

教育長職務代理

　参加者が少なく寂しい思いはしたが、派遣事業の参加者が13人と非常に少なかったという事で、報告会の保護者参加も少なかったと思う。

交流でタイのスワン・スナンダ・ラジャハット大学附属中学校訪問の様子

阿部　賢一 議員

学校人事の時期に教育長不在は

町長　しかるべき時期で検討している

問　副町長・教育長人事は停滞が許されない。学校人事の時期に教育長不在はいかがか。

答　町長
適切な人事案件を協議いただけるよう人選を進めていきたい。しかるべき時期で検討している。町民に対して支障は生じていない。

問　衆議院茨城3区から日本維新の党公認で立候補した。大好きな町をすて、覚悟を決め骨を埋めるつもりの決意で立候補でした。信念と心境の変化は。

答　町長
みなかみが好きだから茨城から出た。自分の町をよくするには国を変える必要がある。どこから出るとか、そういうことではない。

公約を聞く

問　公約に無料化が3項目ある。受けはよいが、ただほど怖いものはない。極めて慎重に議論し時間をかける必要がある。
　農林業が含まれていないが。

答　町長
これから議論して行く。

問　地域の経済を刺激する観光政策とは。

答　町長
町が「大好き」がベース。みなかみブランドをとにかくつくりたい。

問　要支援・要介護サービスの同等化とは、利用費の差額を町で補助し同等化するのか。

答　町長
差額で一番の問題はお風呂の利用である。要支援・要介護での差額120円を何とかできればという考えだ。

問　利用限度額の差額では11万円位になる。差額は町で補助し同等のサービスが受けられると誤解しかねない公約の表現だ。

答　町長
短い文章の中でインパクトがある方向で話している。こういうことを精査していく作業が必要だ。

問　水事業を利用した工業誘致とは。

答　町長
ブランドを上げるために水を使う。具体的な話が来ている。話しが出来る時期になったら示す。

問　町長報酬20％カットの根拠は。

答　町長
議員報酬は現在、特例で約10％削減されている。他町村と比べて下げた。20％がきりがよいからだ。

林　誠行 議員

喫煙に対する考えは

町長　個々に意見をお持ちと思う

問 タバコの受動喫煙による危険性が訴えられている。関連疾患、特に肺がんは増加の一方である。町長の見解は。

答 町長
喫煙は個人ごとに意見をお持ちと思う。健康に不安を感じているならやめる事をすすめる。

問 タバコによる病気や死亡を減らすには抜本的な対策が必要。
町職員の喫煙率は。

答 町長
職員の喫煙率は概ね15％。

問 庁舎全面禁煙の声もある。公用車での喫煙はどうか。

答 総務課長
国がオリンピック・パラリンピックに向け方針を示されると思うのでその時に考えたい。公用車は喫煙と禁煙に分けている。

乳幼児の遊び場整備を

問 遊具がある乳幼児の遊び場を整備・充実して欲しいとの声がある。町の遊び場は何カ所か。管理の状況は。

答 町長
遊具がある公園・遊び場は13カ所。水紀行館にも新設を予定。

問 町内の広場・公園では、破損箇所もあり、修理が必要だ。

観光面でも親子連れが遊べる環境が必要。新治学童クラブは子ども達が来るまで一般開放の要望もある。

答 町長
複数の遊具があり、安全基準も数年で変更される。計画的に入れ替えもしたい。新治学童クラブの一般開放は、安全管理で問題がある。

矢瀬公園の遊具

キンメイチク（金明竹）の活用を

問 2年前、同じ質問をした。その後、教育委員会としての対応は。

答 町長
現地確認を行ったが、専門家不在で限界がある。来年度の文化調査案件としたい。

問 個人の所有物ですが、観光面などでの活用を。

答 町長
文化財として指定されれば地域と行政で協力して、後世に残す手段を考えていきたい。

山田 庄一 議員

農業担い手と新規就農者の育成は

町長　若い人が参入しやすい環境は必要

問 町の農産物は、良質な水や豊かな土、長年の経験に裏付けられた確かな技術などによって評価が高い。継承するには若い世代の就農・育成は喫緊の課題だ。町主導の担い手育成と新規就農者の誘致や支援は。

答 町長
担い手の育成・新規就農者や企業等の参入は重要。新規就農者は、平成26年度4人、27年度3人、28年度0人で主に家業を継いだ人と思われる。気象条件等厳しい環境の中で、適地適作による農業が大事である。現行制度の中で、新規就農者の支援、独立・自営就農のための研修会、経営開始時の資金支援、6次産業化支援などに努めたい。

問 耕作放棄地や農地集約で土地利用を可能にすることが必要。ICT※1を活用した農業の大規模化・集約化で、野菜や果樹の先進地を目指すことへの町の総合的な農業プランはあるのか。

整備し再活用される農地

答 町長
農地の集約は、農地利用適正化推進が、農地中間管理機構と連携したとりくみとして始まっている。28年度は1・2ha、29年度3haが認定事業者に貸付られる予定。IT※1化については、必要性は十分感じているが、農業法人のホールディングスの成功事例があまりないので調査・研究をしたい。

農政課長
町としての農業プランはないが、担い手育成支援事業を創設・検討したい。

※1 ITは、「情報技術」、農業に関していえば、PCや情報機器、インターネットなどを利用した業務効率化を実現する技術を指す。
ICTは、ITに代わる言葉。「情報伝達技術」と訳し、コミュニケーションが強調されている。

台湾交流事業の継続は

問 台湾からの来訪者が、28年度9千人を超えた。町の取り組み方は、台湾での知名度の他、日本の自治体からも注目されている。一つの要因として、台南市への職員派遣の効果が大きいと思うが、今後どうするのか。

答 町長
行政の継続性は十分承知している。台南市についても、派遣職員の現地での活動や人間関係のつながりが大きい。培った人脈は町として活用したい。

髙橋久美子 議員

町長就任にあたり町政の方向は

町長 「みなかみってすごいでしょ」の施策を

問 まちづくりの中心にユネスコエコパークを据え地域創生を図る基本理念は、これからも変わらない認識でよいか。

答 町長 自分たちが自分たちの住んでいる町、その地域の価値を上げていく。それがみなかみブランドをつくること。そのなかにユネスコエコパークもある。

問 人口流出、地域活性化などの問題解決の為に最優先として何から取り組まれるか。

答 町長 課題が山積している。今各課でヒアリングを行い、勉強している最中。人口流出が一番の問題だろうと思う。

問 交通弱者の取り組みの優先順位はどのくらいになるか。

答 町長 すごく大事な点。高齢者だけの問題でなく、観光面からも精査が必要。議会からいろいろ現状調査もして頂き、共に知恵を働かせる方向にと思う。

町民ニーズの反映は

問 町民の声、ニーズを町政に反映する座談会のような意見交換の場を持つお考えは。

答 町長 膝を交えての「お話交換会」みたいなものを考えている。

問 町民が主役とお考えならば、職員の窓口対応も町民ファーストの認識でよいか。

答 町長 接客マナー研修等の予算は取っていない。当初予算のなかで使えるかどうかまず検討したいと思う。心地よくそこに来ていただくというのが一番だと思う。

問 「みなかみ・水「環境力」宣言」をもとにまちづくりをしてきた経緯がある。なぜごみ袋を無料にするのか。また、どのような形で無料化を進めるのか。

答 町長 主婦が気になっているのはごみ袋が高いということだと思う。家庭に決まった枚数を配布し、それ以上は有料との考えだ。

問 公約では無料化をうたわれていたが、完全無料化でない認識でよいか。

答 町長 完全無料化とは、選挙期間中言ってなかったと思う。

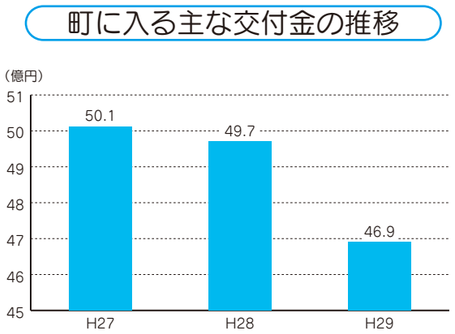
注目のごみ袋

小林 洋 議員

今後の行政運営は

町長 事業評価制度を活用する

問 今後歳入が減少し、財政が縮小していく中、基金の取り崩しと経常的収支を抑えながらやりくりしていく。費用対効果の見直しで歳出削減等を行っていくなか、どの様な観点から見直すのか。



答 町長 民間と違い行政のサービスは、結果がわかりづらい面がある。町民アンケートとかヒアリングを行いながら、費用対効果を見られればいいと思っている。

問 今の事業評価についての考えは。

答 町長 ある程度の評価はしているが、行政の評価というのは誤りを指摘しづらい面もある。その点を踏まえて、事業評価制度を研鑽し、活用できるように勉強していく。

社会保障関連は

問 町長は、社会保障関連で高校生までの医療無料化と、介護保険について要介護と要支援のサービスの同等化を訴えている。それは、町の税金を使って無料化やサービスを同等にするということか。

答 町長 差額は生じるから、税金を使わせてもらう事になる。

問 町の税金から出した場合、これら社会保障関連には、国のルールがある。それに支出したことによる交付金のカット等ペナルティーが考えられるが対処は。

答 町長 指摘は、ある程度理解している。そういうことが起きないような方法を模索して、これから研究させてもらう。

活動報告

安心・安全な防災無線を！

～総務文教常任委員会～

合併後十数年経過したが町全域を統一した防災情報伝達システムがない。また、既存のアナログ防災無線も平成34年3月に使用停止になるため、議会として防災無線等の整備方法を調査し取りまとめた。

先進4市町村の調査

近年、防災無線等システムを導入・運営している兵庫県佐用町（議会だより48号参照）、川場村（同49号参照）、渋川市（同49号参照）、栃木県日光市の導入理由、運営状況を調査し、導入システムのメリット、デメリットなどを確認した。

現状で導入出来るシステムは「同報系」「移動系同報利用」「ポケベル波同報利用」の3パターンである。町の地形から戸別受信機も必要になる。

整備費は8～13億円

町の面積、世帯数、難聴対策の戸別受信機を勘案し試算すると同報系13億円、移動系同報利用11億5千万円、ポケベル波同報利用8億2千万円になる。

整備期間は4年必要

基本設計、実施設計工事などを含め、4年必要である。

現在使用中のアナログ防災無線の停止が34年3月なので30年度に基本設計、実施設計し、31～33年度にデジタル設備を整備することが望ましい。

日光市防災行政無線システムを視察

最適な情報で安心を

携帯電話、スマートフォンなどの通信技術の進歩もめざましい。当委員会の報告書をベースに、町に最適な情報伝達システムを整備し安心安全な町民生活の基礎が出来る事を期待する。

活動報告

にぎやかな温泉街へ

～産業観光常任委員会～

11月24日から26日にかけて、さびれている温泉街を再び活気ある街に戻したいと、熱意に燃えるとりくみを進め成功した、熊本県阿蘇市内牧（うちのまき）温泉への視察について報告する。

阿蘇市観光旅館協同組合の関屋氏（中央）と

内牧温泉街

近年、当町は外国からの観光客が増えている。温泉街も増客対策には力を入れているところだが、もう少し進めたらとの考えのもと先進地を視察した。

内牧温泉は、外国からの観光客対応として宿泊所と食事する所が別の「泊食分離（はくしょくぶんり）」にとりくんでいる。夕食を宿の外に出て食べるスタイルで、その結果1・5倍の集客をもたらし温泉街の活性化につなげた。

阿蘇市観光旅館協同組合の関屋洋一郎さんと意見交換をし、参考になるとりくみが多数あった。当町にも温泉街がいくつもあり活性化へのとりくみを一歩一歩すすめていることは、評価しているが「泊食分離」のような、更なるとりくみにも期待する。

今回の行政視察で参考になったのは、関屋さんからの言葉で「やるか、やらないか」の決意をするということでありました。

泊食分離での外食

活動報告

親しまれる広報誌をめざし

～議会だより編集特別委員会～

10月30日から31日、宮城県で視察研修を行った。
目的は、町村議会広報全国コンクールにおいて、最優秀賞や奨励賞を受賞するなど質の高い広報誌を発行している町の、編集方針やページ構成などの研修を行うためである。

日本一の広報誌に学ぶ

初日の研修は、宮城県川崎町。コンクールにおいて、奨励賞を受賞している。留意点として「議事録形式ではなく町民に親しまれ専門用語をなるべく避け、分かりやすい表現方法を心がける」などの説明を受けた後、質疑応答に移り研修を終了した。

二日目は同県の利府町。ここ利府町議会だよりは、昨年度の全国町村議会広報コンクールにおいて日本一に輝き、大変注目されている広報誌である。ここでは、「議会を傍聴しない住民に対しても傍聴したのと同程度の情報を提供する」などの貴重な説明を受けた。質疑応答、意見交換を行い、二日間の日程を終了した。

可能なかぎり研修の成果を生かして、1人でも多くの方に読んで頂くことが大切と改めて感じた。

川崎町会議室での研修

利府町議会議場での研修

歓迎

台湾高雄市議会来町

11月13日から3日間の予定で訪日された台湾高雄市議会一行の9人が、13日みなかみ町議会を表敬訪問された。

訪日の目的は、平成30年7月7日に開催される「日台議員交流サミット」について意見交換をしサミットへの参加願いであった。

当町は台南市と友好協定を結んでおり、台南市の直ぐ隣に位置する人口約278万人の高雄市とは面識があった。訪問は、県内はもとより国内で一番先に当町へ訪れていただいたことになる。

意見交換には、議長、副議長が出席しサミット参加について前向きな意見を交わした。

高雄市議会一行と

活動報告

交流の輪・広がる友情

～交流促進特別委員会～

11月16日から20日に三宅村産業祭への招待を受け、昨年に続き村民の皆さんとふれ合い、絆を深めてきた。
本格的な復興へ明るいきざしが見える三宅村の現状を報告する。

雨降って地かたまる

三宅村は、今年10月の台風21号22号で農産物に大きな被害が及び、野菜が不足している状況だった。雨となった外会場のテントでは、地元自治会が工夫を凝らした創作料理の販売や、友好都市からの参加者とのコミュニケーションが図られた。みなかみ町からは、米・りんご・手打ちそば等の特産品を販売し、昨年以上の賑わいであった。

三宅村産業祭でのみなかみ出店舗

農業復活に希望がともる

春に訪れた雄山（おやま）は、中腹まで枯れ草に覆われていたが、火山性ガスがほとんど計測されなくなったことを受け、山頂付近まで若草色に染まっていた。来年の山頂への立ち入り禁止解除へ向け、東京都と協議中とのことであった。

また、今年の春、委員会有志によって寄贈され、試験植樹したデコポンの苗木も順調に生育しており、本格的な事業展開に向けた組織づくりが急がれる。

歓迎

交流先から来町

奈良俣ダムを視察する三宅村議会一行と

10月21日から22日にかけて、台湾東京代表処の謝（しゃ）大使ほか2人、並びに三宅村議会谷議長ほか6人の議員と職員の皆様が、「豊楽祭り」に合わせて来町された。

あいにくの雨で町の魅力を充分に伝えることは難しかったが、収穫物や伝統文化等を紹介した。

今後の更なる交流へ期待が大きく持てた。

この町のあるある

町のお宝紹介

素晴らしいこの町を町民の皆さんと一緒に大切にしていくため、町にある「お宝」を再確認するコーナーです。
「この町には、いろいろある。何もないことない。」
このコーナーでは、皆様からの情報もお待ちしております。
町のお宝をご存じの方は是非ご一報ください。

足に対する貢献度「世界一」へ

㈱ＢＭＺ（ビーエムゼット）（ブーツ マイスターゼナス）

取締役社長　髙橋　毅（つよし）さん（上区）

上津のBMZ本社

猿ヶ京スタジオの店内

㈱ＢＭＺは、インソール（靴の中敷き）の製造販売会社です。

社長の高橋さんは高校３年生の時、足に大きなケガをしてプロサッカー選手の夢を諦めた苦い経験があります。それから「アスリートを足元から支えたい」という思いがインソールの開発へと発展し、２００１年にＢＭＺの創業に至ったそうです。

足独自の機能性インソール開発

アメリカで開催されたスポーツ関連の展示場で、出会った専門家の考えを参考に立方骨（りっぽうこつ）を支える「ＢＭＺの骨格アプローチインソール」は誕生しました。２つの特許を持つ機能性インソールは、現在様々なアスリートに使用され驚くべき成果が出ているそうです。

また、旧猿ヶ京幼稚園舎に設営した高橋さんが理事を務める「足　健康村」では、足に関わる教育・学習・研修ができ、スペシャリストや企業が集って人々に情報やサービスを提供してくれます。アスリート以外にも高齢者を含め、歩行に問題を抱える人の症状改善や予防に効果を発揮するとされ、ビジネス界から認められ「群馬イノベーションアワード※1」で部門賞を受賞されています。

※1　次代を担う起業家や起業家精神を持った人材を発掘し、国・県内の技術革新等の機運を高める目的を持つ企画。

故郷へ恩返し

髙橋さんは現在、様々な大学や機関と連携して研究データの集積や、企業との提携で加盟店への店舗展開を進めており、その熱い思いを伺いました。「育ったこの地に恩返しがしたい。この町を生産拠点として日本から世界へ発信したい。産業基盤さえ備われば、こんなに良い場所はない。事業を拡大して地域雇用を確保したい。」「町には、若い人が働ける場の提供を、ビジネスなどに失敗してもチャレンジできる環境づくり、希望が持てる雰囲気のあるまちづくりをして欲しい。」

猿ヶ京スタジオにて取材

ふるさとクイズ

★この頁は町民皆様にご参加頂く頁です。以下を参考にふるってご参加下さい。
★正解者には抽選で５名様に粗品を進呈いたします。

問題　「足　健康村」が設営されている施設は？

Ⓐ 旧月夜野幼稚園
Ⓑ 旧猿ヶ京小学校
Ⓒ 旧猿ヶ京幼稚園

前回の議会だより 51 号ふるさとクイズの正解は『Ⓒ 尺八』でした。

参加のきまり

下の**ハガキ**または、裏面の**FAX 用紙**などに、クイズの**答え・住所・氏名・議会への伝言**を記入し、お送りください。
※**下のハガキ**は、裏面を記入後に**必ずのり付け**をして投函ください。

〒379-1393　群馬県利根郡みなかみ町後閑 318
みなかみ町議会事務局
議会だより「ふるさとクイズ・ご意見」係
締切：平成 30 年 2 月 28 日（当日消印有効）
※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせて頂きます。

郵便はがき

〒379-1390

群馬県利根郡みなかみ町後閑三一八

みなかみ町議会事務局
「ふるさとクイズ・ご意見」係

――記入欄は裏面にあります――

料金受取人払郵便
沼田局承認
654
差出有効期間
平成31年3月
31日まで
（切手不要）

丘 -折- り -線

議会傍聴のご案内

傍聴は、どなたでもできます。ただし、当日に議場入口で受付を済ませてからご入場ください。

流れ

①受付にて「受付表記入（住所･氏名･年齢）」
②受付表を係に渡して「傍聴カード」を受け取る
③傍聴席へ
④帰りに「傍聴カード」を返却箱へ入れて終了

※注意／飲食・録画・録音・写真撮影は禁止。

ぜひ一度、本会議を傍聴してみませんか。

次回の定例会は
3月　6日（火）～
3月16日（金）の予定。
場所：役場本庁舎3階議場
席数：34席

委員会構成変更（11月～）

前田善成町長の議員自動失職に伴い、委員会構成が変わりました。

産業観光常任委員長　　中島信義
産業観光常任副委員長　鈴木初夫

また、議会だより編集特別委員会は、以下のようになりました。

委 員 長…森　　健治
副委員長…髙橋久美子
委　　員…石坂　　武
　　中島　信義
　　山田　庄一
　　原澤　良輝

編集アドバイザー（写真）安部　　武
編集モニター……利根商パソコン部

編集モニターアドバイス　利根商PC部

様々なところで大活躍の記事が掲載される利根商業高校生。学校生活と課外活動で忙しい中でもアドバイスをして頂きました。

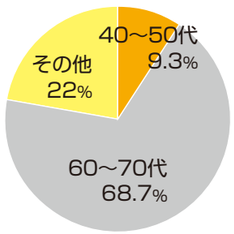
実績有るパソコン部の声に感謝します。

今回の心がけも3つです。

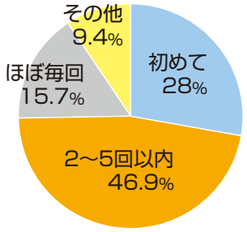
1．分かりやすくなったが、難しい用語にはもっと説明を入れる。
2．数字表記を統一する。
3．コントラストのとれた写真を採用する。

議会傍聴アンケート集計結果

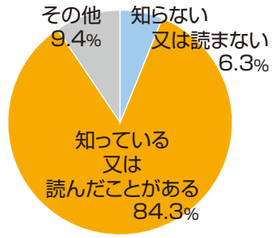
回答者様について



傍聴は何度目?



「みなかみ議会だより」について



議会傍聴においでいただきありがとうございました。

今後の円滑な議会運営のため多くの皆様にアンケートにご協力を頂きました。

町村監査功労者表彰受賞

まさよし
監査委員の澁谷正誼さんが、平成21年からの監査委員としての功績に対し、29年11月2日に監査功労者表彰を受賞されました。

声

皆様のおたより

ハガキの方は、この線で切り取り内側へ貼り合わせて投函してください。

FAXの方は、この線で切り取ってご利用下さい。

FAX番号 0278-25-8127

前号から、ハガキ・FAX形式に変え、10代から80代までの皆様より多くの伝言を頂くことができました。

ホッケー場を合宿地とした東京五輪への働きかけや町発展のための議員力発揮など、具体的なご提案や新体制でのまちづくりへの叱咤激励なども頂き、大変感謝いたします。

頂いた声は全議員で共有していきます。

☎25-5032（直通）

○クイズの答え ⇨ ＿＿＿＿＿＿＿＿

○差出人住所 ⇨ 〒

○差出人氏名 ⇨ （ふりがな）＿＿＿＿＿＿＿＿

○年　　代 ⇨ ・～10代　・20代　・30代　・40～60代　・70代～
（該当項目に○印を付けてください）

谷 -折- り -線

○議会への伝言

のりしろ　のりしろ　のりしろ

町民ひろば

移住・定住シリーズ⑮

今回は、生まれ育った北海道でスキーを始めて以来、ずっとスキーと関わった人生をお過ごしのご主人と、絵画を趣味とされている奥様のご紹介です。

「山は滑って降りるもの」

奥利根スノーアカデミー校長（元プロスキーヤー）**長谷川 英（まさる）さん** 71歳（布施区）
和子さん

長谷川さんご夫妻と愛犬

――みなかみを知ったきっかけは？

大学生の時にホワイトバレースキー場でスキースクールの講師をしたのがきっかけ。（ちなみに横浜市出身の奥様とはここで出会ったそうです。）

――なぜ、定住を？

メーカーの仕事に就いていたので、夏季は東京で販売促進の仕事をし、冬季はスキーの仕事をやっていた。（山と渓谷社「別冊SKIER」や谷川岳天神平の滑走ポスターのモデル等もされていた。）

そんな中、15年ほど前に現在の奥利根スノーパークの宿舎として準備した建物が現在の自宅となっている。

――住んで良かったことは？

自然が好きなので四季がはっきりしていて良い。高齢になると心配だが都会より住みやすい。道路はできるし、大型のスーパーはできるし、コンビニエンスストアでATMも使えるようになった。年々便利になってきている。道路沿線の除雪や草刈りはありがたい。

――お困りのことは？

農道沿いに住んでいるせいか街路灯が少ない。高齢になると大変だなと感じることは、移動手段のことでバス路線や本数も少ない。家の周りの手入れも大変になってくるので、そんな時はマンション暮らしの方が良いなと思う。病気を経験して感じた。

和子さんが美術展へ出展した絵画の一つ
（谷川岳オキの耳から見たトマの耳）
第44回 近代日本美術協会展　東京都美術館 「黎明」

――提案されたいことは？

町は広く、種々の中心的役割をしているところが分かりづらい。

――夢は？

目の衰えと共に現在はスキーを休んでいる。体力の回復を待ってやりたいことをしたいと思っている。

編集後記

昨年秋に町長選挙が行われ前田新町長が誕生しました。それに伴い議会だより編集委員会の人事も行われ、委員長に森健治氏、副委員長に髙橋久美子氏が選任されました。また、議会だより編集アドバイザーの利根川太郎氏は52号をお休みさせていただきました。

これからも目的、目標をもって議会の動きを町民の皆様にお伝えし、読まれ、親しまれる議会広報誌を委員会一丸となって発行してまいります。

（中島　信義）

発行／みなかみ町議会
〒379-1393 群馬県利根郡みなかみ町後閑318
☎0278-25-5023　発行人／議長　林　喜美雄
編集／議会だより編集特別委員会
印刷／有限会社 コトブキ印刷　☎0278-22-5400